

1. 調査報告概要表

作成日 平成22年4月5日

【評価実施概要】

事業所番号	347024243
法人名	株式会社 広の島
事業所名	グループホーム古の市
所在地	広島県広島市安佐南区古市3-5-3 (電話) 082-877-1413
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成22年3月30日

【情報提供票より】平成22年2月24日)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 1 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	12 人
利用定員数計	7 人
常勤	6 人
非常勤	6 人
常勤換算	6.3

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	10 階建ての 2 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	200 円
	夕食	200 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2 月 24 日現)

利用者人数	7 名	男性	0 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	1 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87 歳	最低 76 歳	最高 96 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	船木病院 川添歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設は一般家庭使用とされていたマンションの部屋をホームとして利用され、利用者と職員は家族的自然な親密感を持たれて暮らされている。運営者、管理者が理想とされている「こころのバリアフリーをめざします」である安心安全で和やかな雰囲気が保たれ、本日も笑顔の利用者の方々に迎えられた。今後も孤立することなく地域の一員として地域活動に参加され、グループホームの理想である地域密着型の施設として地域に支えられ又認知症ケアの啓発等の地域貢献がされることが期待されます

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で指摘された地域との交流等重要な点はピックアップしてミーティングで検討し、努力目標とされている
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ホームの理想とされている目標が高く、自己評価を厳しく捉えられ向上への弛まぬ努力が窺える。自己評価項目内容を職員と共有されサービスの質の向上の機会とされることも期待される
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2カ月に1回開催され、家族代表者や地域包括センターよりの出席を得ているが、開催日が週中であるため、勤めを持たれている町内会役員や民生委員等の出席が得られていない現状がある。今後は開催日や案内方法等を考慮され町内会老人会や民生委員等の参加が期待されます
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月請求書を送付時に写真を入れた近況報告を個人別に送付し「古の市便り」でホームの運営状況も伝えている。日常的に訪問される家族には会話を重ねて意見交換をし、家族アンケートを送付等して意見を求める取り組みも今後も継続してゆきたいとの意向である
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームがビルの2階部分に位置しているため地域との交流にリスクはあったが、前年度地域の役員を務めたことで町内への認知度が向上した。今後も認知症への見識の啓発等地域交流を深められる活動が期待されます

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営者は福祉分野の豊かな経験を生かされながら、介護される立場と支援する側の立場に配慮した「こころのバリアフリー」(さまざまな立場の人のことを理解し思いやりの心を持って接する)を理念としてつくりあげている		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念を共有し利用者と家族的な関係の実践に努めながら、緩やかな時間の流れを利用者と共に過ごしている		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域町内会に加入しお祭りや区民文化センターのイベントに参加している。前年は町内会の役員を務めた為、町内への認知度は向上した。理美容院、買い物等出来る限り近隣の店を利用し、会話しつつ交流に努めている		ホームがビルの2階部分にあり、オートロックであるためのリスクはあるが、認知症への見識の啓蒙等されることで、地域の方々が立ち寄れる工夫が求められます
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回での評価項目について重要部分を抜粋してミーティングで検討し、改善しサービスの向上に取り入れている		自己評価作成時には職員とも共有され、項目の課題をサービスの質の向上の機会とされることも一案です
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2カ月に1回開かれ家族代表他地域包括センターよりの出席を得ているが、開催日が週中であるため町内会の役員や民生委員の出席が得られていない		開催日の調整や案内の方法を考慮されながら、町内会、老人会や民生委員、警察署等が参加されることが期待されます

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法的な疑問点等がある時は市役所に連絡をして質問したり、現状報告を送っている。運営推進会議への案内は毎回しているが年間1～2回出席がある		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月請求書を送付時に写真を入れた近況報告の個人別のお便りや「古の市便り」でホームの運営状況を伝えている		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的に訪問される家族とは常に会話を重ね意見交換をしている、又家族アンケートを送付して意見を求め運営推進会議の議題にもしている		アンケートの回数を増やされたり、内容を具体的にされたりして家族の意見が一層表出出来るように再度工夫される意向であった
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	少人数(7人)である利点もあり、開設以来在席されている管理者が常に利用者全員と馴染みの関係を持たれているので職員移動の混乱は和らげられ、ダメージの状態は避けられている		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現在は管理者のみが研修に参加し、研修内容をミーティング等で全員に報告し共有している		職員よりも外部研修の機会を要望されている。今後はシフト等の調整をされ、職員の企業内の勉強会や外部研修への参加が行われることが、職員のモチベーションの向上にも繋がると期待されます
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流を希望されているが、現状では交流が持たれていない		地域包括センターにアドバイス等を求められ、地域の同業者との交流や勉強会、相互訪問等を通じてサービスの質の向上が期待されます

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	待機者が多数(10人以上)ある中でも、いきなりサービスを開始することなく、施設見学や体験入居、職員による家庭訪問等を行い、充分納得され信頼関係を進めながら入居を決めてもらっている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴、職歴等を職員は全員で共有し、持たれている特技や経験を職員が教えらる立場に成りながら、共に暮らす雰囲気作りに努めている		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「今までの人生の中で今が一番幸せです」と述べられた利用者の言葉があった。7人全ての利用者の笑顔はその言葉にふさわしく受け取ることが出来た。起床が遅かった利用者が朝食を自分のペースでゆっくりと楽しんでいた光景があった		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	6か月間隔で行う介護計画は申し送りノート等で職員と検討が重ねられ、家族の意見を求めながら作成している。訪問回数少ない家族との意見調整をもっと進めたいとのホームの意向があった。計画書には入居者本人が署名され一旦家族に送付し、再度検討をされた後送付して貰っている		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日常生活上、身体的精神的な変化が生じた場合申し送りノートやミーティングで取り上げ見直しをしている。個々の利用者には十分に寄り添い変化を見逃さない配慮に努めている		

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームが商店街に面し、交通の利便性があることで外出支援を兼ねて近隣の商店や理美容院を利用している。近くにある区民文化センターでのイベントにも参加している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の定期健康診断を受け、必要に応じて職員同行で通院もしている。常勤看護師の健康観察は常時かかりつけ医に報告され、それをもとに薬が処方されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者は年月の経過とともに高齢になられ、身体的にも弱体となられるので常勤看護師は医師との連携を充分とり家族との話し合いを持たれている。現在までは看取りは行っていないが、今後は医師と連携の上看取りも行うことを職員で共有している		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居前の生活歴を職員は十分に共有し偏りのない、敬意を持った声かけが行われていた。個人ファイルの管理も充分行き届いている		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一家族の居住されていたホームの居室形態を優先的に活用され、リビングよりキッチンへは仕切りもなく自由に行き来され、職員との雑談が楽しく交わされ利用者の行動の把握が容易に出来る状況が窺われた		

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューの希望を取り入れながら職員と同行で買い物に行き、下準備や配膳も手伝われている。下膳をされる方、食器洗いを手伝いされる方等職員の誘導で役割分担が緩やかに行われている		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は大体の目安として週2回としているが、希望に応じて支援している。入浴を嫌がる方にもタイミングを作りながら勤めている。家庭用の浴室に「ゆ」のしるしのある暖簾がつり下げられ雰囲気醸し出されている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	BGMで流されている曲は利用者が若い日々に耳にされた曲のメドレーで、利用者1～2人は一緒に口ずさまれている。又編み物の先生をされていた利用者を指導者として職員が教わる立場になることもある。訪問当日の食事時間には近日に予定されている花見について楽しい会話が交わされていた		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣のスーパーへの買い物、近くの食堂での外食お花見等季節に合わせた外出の計画が立てられている。建物近くの花壇は職員と共同で整備され春の草花や野菜が植えられ、外出支援の一役とされている		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関には施錠はしていない。入居者が少数(7人)なので動向は把握しやすいが転倒などの心配のある方にはセンサーを置いて部屋での動きにも配慮している。帰宅願望の多い時間帯に外出支援を取り入れ落ち着いてもらうこともある		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は計画を立てて職員のみで行っているが利用者に伝わっている。訓練した後、訓練記録を消防署に報告している		防災訓練計画を消防署にも伝え消防署の参加を求められ、専門的な情報を得られることや地域よりの協力体制を築かれることが期待されます

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ホームの方針として、口から美味しく食物を摂取して貰うことが健康維持に最も重要な支援であると捉え、一人ひとりの食事量、水分摂取量の記録をしている。一度に食べられない方には、おむすびや刻み、流動食等にして間食にも食べてもらっている。風邪やインフルエンザにかかる方が現状では皆無である		
捉えられ					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	仕切りを無くしたリビングとキッチンの間を利用者は自由に行き来し、食事前後の作業に加わり職員と身近に会話も出来て家庭的な生活感が窺われる。リビングのテーブルは利用者の好みに合わせた席とされ、職員も同席となって精神的にはバリアフリーが感じられる		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	国道に面し車の通過量が多いが、窓の配置の関係か室内までの騒音の影響は殆どない。各個人居室は自宅で使用されていた品や活躍されて居られた時の思い出の展示物も飾られ、常時話題にすることで生甲斐に繋がれている		